

## 第 33 回台日工程技術研 討会 ・ 講師履 歴書

	<b>名 前</b>	谷口 秀明
	<b>ローマ字表記</b>	Hideaki Taniguchi
	<b>最終学歴</b>	1998年3月に筑波大学大学院修士課程理工学研究科理工学専攻を修了。 2007年3月に同大学に学位論文を提出して博士(工学)を取得。
	<b>専門分野</b>	コンクリート
<b>勤務先・職位</b>	三井住友建設(株) 技術本部 副本部長兼技術研究所長	
<b>主要職歴</b>	1999.6 住友建設(株) 入社, 技術研究所 土木構造チームに配属 2015.4 三井住友建設(株) 技術本部 技術研究所 土木材料グループ長 2018.4 同上 技術研究所長 2019.4 同上 副本部長兼技術研究所長	
<b>主要論文・著書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テストハンマーによるコンクリートの硬度測定および強度推定の誤差要因に関する検討, 土木学会論文集, No.767/V-64, pp.199-210, 2004.8(平成16年度土木学会吉田賞論文部門)</li> <li>・塩害劣化したRC中空床版橋への維持管理計画の立案と吹付けによる断面修復工法の適用&lt;総合題目&gt;土木学会論文集, No.774/V-65, pp.99-110, 2004.11 および No.798/VI, pp.75-88, 2005.9 (平成18年度土木学会論文賞)</li> <li>・(公社)土木学会 2007年, 2012年, 2017年制定コンクリート標準示方書[施工編]</li> <li>・(公社)日本コンクリート工学会コンクリート診断技術 '17,'18,'19</li> </ul>	
<b>講演テーマ</b>	コンクリート橋の長寿命化技術 — 材料, 施工, 維持管理 —	
<b>講演概要</b>	コンクリート橋の長寿命化を目的に, 必要となる品質確保の基本技術と, 更なる耐久性向上を目指した最新の技術を紹介する。また, 講演者が30年以上行ってきたコンクリート分野の研究開発活動, 学協会活動(例えば, 土木学会コンクリート標準示方書改訂等), 現場支援活動等を振り返り, 材料・施工・維持管理の様々な観点から長寿命化に欠かせない事柄を述べる予定である。	